

## 第7回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・同推進賞受賞者

標記の賞につき、会員の皆さまよりご推薦いただいた候補のなかから選考の結果、2013年度は学会賞1件・推進賞1件の下記授賞を決定いたしました。今後とも本賞の発展にご協力くださいますよう、お願いいたします。

### ◆第7回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞

〔賞の概要〕

『アート・ドキュメンテーション研究』、『アート・ドキュメンテーション通信』、その他の雑誌に掲載の論文・記事、図書、データベース、展覧会、ウェブサイトのなかから優れたものを選出。会員に限らない。対象となる論文・記事、図書、展覧会は、受賞年の前年度を含む過去3年間に発表されたものとする。

受賞	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館 『東京国立近代美術館60年史』の刊行に対して
授賞理由	<p>独立行政法人国立美術館が運営する美術館である東京国立近代美術館は、日本初の国立美術館として1952年に開館。多ジャンルにわたる近現代美術作品を収集し、常時展示してきた実績をもつ。本書はその60年におよぶ歴史を詳述した浩瀚な記録である。1)「論考」2)「年史」、3)「回顧」、4)「資料」の4部構成となっており、添付のCD-ROMには、『現代の眼』1-594号総目次や、諸種の総索引などが収録されている。ページのほとんどを飾る豊富な図版・写真も魅力を添える。日本における近現代美術の歴史を知る上で、今後は関係者や研究者に最重要文献として利用されるであろうことは明らかであり、その資料価値はきわめて高い。</p> <p>よって、アート・ドキュメンテーション学会は、本書に対し、平成25年度の野上賞（学会賞）を授与するものである。</p>

### ◆第7回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション推進賞

〔賞の概要〕

アート・ドキュメンテーション関係業務の現場において、効果的かつオリジナリティを発揮した者、あるいは機関を選出。会員に限らない。

受賞	株式会社 東京美術倶楽部 『市井展の全貌—淡交会、珊々会、尚美展から東京会まで(戦前編)』の刊行に対して
授賞理由	<p>同書は、5年の歳月をかけて、これまで顧みられなかった百貨店を中心に開催されてきた画廊の企画展（これを同書は公設展覧会に対して市井展とする）の歴史を編纂したものである。明治期から昭和戦前期までの主要な画廊主催展約500件についての記録（主催者場所、会期、出品作品等）を収載している。市井展が作品販売目的の展覧会のため、一次資料の販売目録といったエフェメラをできうるかぎり渉猟し、掲載図版約4000点はドキュメンテーションとして貴重な書籍となっている。こうした書籍の刊行にあたっては、すでに『美術商の百年 東京美術倶楽部百年史』（平成18年）の刊行といった実績、同倶楽部の伝統が力となっていよう。今回は戦前編であり、今後戦後編も期待されるものである。</p> <p>よって、アート・ドキュメンテーション学会は、本書に対し、平成25年度の野上賞（推進賞）を授与するものである。</p>

※第8回 野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞・推進賞の推薦募集は、2014年1月下旬の開始予定です。詳細は『アート・ドキュメンテーション通信』100号および学会のウェブサイトにて告知いたします。会員のみなさまには、ぜひ多くの推薦をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：アート・ドキュメンテーション学会事務局

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内

電話：03-5307-1175 E-mail:jads@univcoop.or.jp